

20財工第91号
平成19年5月30日

各拠点病院 病院長 殿

財団法人エイズ予防財団
理事長 木村 哲
(公印省略)

「エイズ予防・ケア研修会（入門編）」への参加者募集について（依頼）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。当財団の活動に対しましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では厚生労働省からの委託を受け、標記研修会を開催いたします。

つきましては、公務ご多忙のところ恐縮に存じますが、別添募集要項をご高覧の上、関係者への研修会の周知していただきますようお願い申し上げます。

なお、申し込みにつきましては、受講希望者より直接当財団にご連絡頂ければ幸いです。申し込み多数の場合は、厚生労働省との協議により選考させていただきますことをご了承下さいますようお願い申し上げます。

記

研修会名 「エイズ予防・ケア研修会（入門編）」
開催日 平成20年7月30日（水）・31日（木）
開催会場 飯田橋レインボービル
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地

以上

なお、募集要項は、当財団ホームページ（<http://www.jfap.or.jp>）およびエイズ予防情報ネット（<http://api-net.jfap.or.jp>）上にも公開いたしますのでご利用下さい。

財団法人エイズ予防財団
担当：矢永・池田
電話 03-5259-1811
FAX 03-5259-1812

平成 20 年度予防・ケア入門研修会 募集要項

本研修は、財団研修の中で最初に受講してもらいたい入門編と位置づけており、「検査・相談研修（基礎編）（応用編）」や「ケア応用編」「NGO 指導者研修」「通訳研修」の前になるべく受講することを推奨します

1. 研修の目的：

エイズ予防啓発教育や HIV 感染者・家族の医療や地域支援に今後関わる予定の担当者、あるいは関わり始めた担当者を対象に、HIV についてこれまでの経緯から現在の課題、今後の方向性と一連の流れを検討することで日本におけるエイズ問題への理解を深める機会を提供することを目的としています。HIV の知識をまず習得したいという方には適しています。

また、従来、HIV の課題が「予防」と「ケア」に分断されて取り上げられているため、各領域の関係者が一同に集って HIV の取り組みについて検討する場は限られています。今回、予防とケアの両方の課題と取り組みを一つの場で扱うことで、双方の関係者が互いの考えや状況を具体的に知り、今後の活動の計画や実施に反映できる機会になるようなプログラムを作成しました。自分とは違った視点を持つ人たちとの交流は今後 HIV に関する際の活動の幅が広がる可能性があります。

2. 日 程：平成 20 年 7 月 30 日（水）・31 日（木）

3. 研 修 場 所：飯田橋レインボービル（東京都新宿区市谷船河原町 11）

4. プログラムの内容（内容等は変更することがあります。）

【1 日目・金曜日】

9:00～9:30	受付
9:30～9:50	開会 挨拶 オリエンテーション
9:50～10:50	講義「HIV 医療の取り組みを振り返って」（案）
11:00～12:30	シンポジウム 1「HIV 陽性者のこれまで・今・そして今後」
12:30～14:00	昼休み
14:00～16:00	シンポジウム 2「予防とケアの視点とは？」 検査相談の取り組みを考える ～予防とケアの両軸を目指して～ 地域の取り組みからケアの実際を考える
16:20～17:00	地域別の小グループでの意見交換
18:00～19:00	情報交換会

【2 日目・土曜日】

9:00～11:30	分科会<前半> A-① ; B-①; C-① 選択制
11:30～13:00	昼休み
13:00～15:30	分科会<後半> A-② ; B-②; C-② 選択制
15:30～16:00	休憩
16:00～16:40	小グループでの振り返り；講師からのフィードバック
16:40～17:00	修了式 挨拶

5. プログラム各項目の目的

- ◆ 講義：「HIV 医療の取り組みを振り返って」（案）
 長年 HIV 医療に従事してきた医師より、HIV 医療や HIV 陽性者を取り巻く状況について当初の時点から今日に至るまでの変遷を説明してもらい、HIV 医療の今を長期的な視点で捉える。
- ◆ シンポジウム 1：「HIV 陽性者のこれまで・今・そして今後」
 数名の HIV 陽性者に、陽性判明後に何を考え、どのような課題にぶつかり、それを解決してきたかなどを率直に語ってもらい、受講生一人ひとりに、陽性者の抱える課題について考えを深めてもらう。
- ◆ シンポジウム 2：「予防とケアの視点とは？」
 保健所で長期に渡り、検査相談の事業を予防とケアの両方の視点を取り入れながら、また地域の資源も活用しつつ展開している担当者（保健師、事務担当、臨床心理士）に、その実際について発表をしてもらう。
 また、地域の NGO の活動から見た「予防とケア」のテーマについてコメントをお願いする。
- ◆ 分科会：予防・ケアの具体的な取り組みについて、幾つかの話題を中心に、担当者から活動の報告や問題提議を行ない、受講生は担当者との質疑応答などを通し分科会の話題について理解を深める。

6. 分科会について：各分科会の説明と選択方法

<分科会の項目>

	《午前》	《午後》
A グループ【若者・女性へのアプローチ】	①若者の課題とそのアプローチ	②女性・CSW（コマーシャル・セックスワーカー）の課題とアプローチ
B グループ【職場とコミュニティ】	①職場とエイズ 企業の取り組み	②NGO と行政の連携の試み： MSM（男性同性間）対策を中心に
C グループ【ケア・サポート】	①中高年、高齢者の課題 介護支援の現状と課題	②外国人の現状と支援

<各分科会で取り上げる内容>

A-① 若者の課題とアプローチ

- ・十代の若者を対象とした活動（若者主体）の紹介；首都圏と地方都市でのそれぞれの特徴を活かした活動について

A-② 女性・CSW（コマーシャル・セックスワーカー）の課題とアプローチ

- ・CSW を対象とした当事者による普及啓発活動の紹介
- ・女性 HIV 感染者のケアを行う医療従事者から見た女性と HIV の課題についての発表

B-① 職場とエイズ；企業の取り組み

- ・職場の HIV 陽性者の受け入れの現状
- ・企業の取り組みの現状と今後

B-② NGO と行政の連携の試み；MSM（男性同性間）対策を中心に

- ・連携の試みの実践報告や留意点についての検討を、当事者団体の立場と行政の立場から発表

C-① 中高年・高齢者の課題；介護支援の現状と課題

- ・地方における HIV・エイズの動向の紹介と実態に基づく中高年・高齢者に対する HIV 予防とケアの実践の報告
- ・地域における介護支援の実践とそこから見えてきた課題についての発表

C-② 外国人の現状と支援

- ・関西圏、東海圏、関東圏在住の外国人が抱える HIV の課題と NGO の立場からの予防とケアの活動の紹介
- ・通訳の現状と課題の検討

<分科会の選択について>

A～Cグループ分科会から、午前、午後それぞれに第一希望、第二希望を決める
その希望について、申請書に、第一希望は(1)、第二希望は(2)と記入する。

(注)

午前と午後、別々のグループから選択できます。例えば、午前中は、A-①、午後はB-③など。

※人数調整のためご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください

6. 募集対象：現在、HIVの予防・啓発教育や予防介入や、HIV陽性者の医療や地域支援に関わっている・あるいは関わり始める予定の行政担当者、クリニックや医療機関の関係者、心理福祉介護職、教育関係者やHIV活動に関わっている学生、企業の担当者や衛生管理者、NGO、国際協力関係者、マスコミ・出版関係者等

7. 募集人員：約100名（先着順：人数になり次第締め切らせていただきます。一関連団体からの参加人数について検討を加える場合があります。）

8. 主な講師：HIV感染症の予防介入活動や医療、支援に関わる実践者・専門家等

9. 申込み方法：

(1) 申込みは別紙「申込書」に参加者氏名等必要事項を記入の上、直接、エイズ予防財団へ提出ください。

(2) 宿泊はこちらで用意しませんので、各自手配願います。

(3) 昼食は研修施設周辺にて、各自でお取りください。

10. 募集締切日：平成20年6月25日(水)

※申し込みは、郵送、あるいはファックスでお願いします。

11. 受講者決定通知：選考の結果については、受講決定者に平成20年7月初旬までに郵送で、詳細なプログラムと共に通知致します。研修生決定後の研修生変更は原則として認めません。

12. 参加経費：一人あたりの参加経費は次の通りです。

受講料	・・・	無 料
資料代(消費税込)	・・・	¥5,000
情報交換会	・・・	¥1,500

13. 問合せおよび申込書送付先：

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

財団法人 エイズ予防財団 「エイズ予防・ケア入門編」研修 係

担当：矢永・池田

電 話 03-5259-1811

FAX 03-5259-1812

(参考) エイズ予防財団ホームページ

①<http://www.jfap.or.jp/>

②<http://api-net.jfap.or.jp/>

③<http://api-net.jfap.or.jp/i/> (携帯電話用)

参 加 申 込 書

申込日:平成20年 月 日

参加希望研修会	「予防・ケア（入門編）」研修会
---------	-----------------

※氏名は修了証書の氏名としますので、正確に楷書で記入して下さい。

氏 名	ふ り が な	年 齢
		歳
職種:該当する職種を○で囲んで下さい。 医師・保健師・看護師・検査技師・薬剤師・心理職・福祉職・介護職・NGO・教育関係者・企業関係者・マスコミ、出版・国際協力学生 その他 ()		
* 楷書で記入して下さい。研修会資料の名簿に掲載します。 名簿にご住所等の掲載を希望しない場合は下記※へ☑願います。 お名前と勤務先、職種は基本的に名簿に記載しますが、希望なされない場合はお申し出ください 【勤務先名】および【所属部署名・係名】		
【勤務先の住所(または郵便物の送付先)】 ※名簿に住所・電話番号等連絡先掲載を希望しない ☐		
〒	-	-
		送付先及び電話・FAXがご自宅の場合は☑願います ※自宅 ☐
電話:	-	-
	FAX:	-
連絡用メールアドレス(0とo、ハイフンとアンダーバーの区別を明確に)		

【アンケート】グループ分けやプログラム内容の参考にします。

①	・現職の経験年数 ・エイズ予防啓発やケア活動の経験年数	・()年 ・()年
②	(1)エイズの予防・ケア活動にあなたはこれまでどのように関わってきましたか？(具体的に) (2)関わった中で何か困ったことはありましたか？(具体的に)	(1) (2)
③	今後、エイズの予防・ケア活動にあなたはどのように関わっていく予定ですか？(具体的に)
④	過去の研修受講経験について	年 主催者 名称 年 主催者 名称
⑤	今回の研修会で特に取り上げてほしい内容や要望などがありましたら、お書きください。
⑥	この研修会をどこでお知りになりましたか？	職場 知り合いから 財団 HP その他()

※分科会(午前・午後共に、第一希望は(1)・第二希望は(2)と記入してください) ※記入例参照

	午前	午後
A-①	A-②	
B-①	B-②	
C-①	C-②	

※	【記入例】	午前	【記入例】	午後
	A-①	(1)	A-②	
	B-①	(2)	B-②	(1)
	C-①		C-②	(2)

【受講希望の動機】

平成 20 年度 エイズ予防財団 研修一覧表

* 20 年度の研修の特徴：2 方向への発展「HIV/エイズへの取り組みの一層の『広がり』と専門性の『促進』」

<HIV/エイズにおける予防・ケアへの取り組みの広がりを目指して>

- ・ 19 年度に引き続き、予防・ケアの入門編：HIV/エイズへの取り組みについて、予防とケアの基本を学ぶ機会を提供する。受講対象を、行政や医療の専門家のみならず、企業や国際協力、NGO、学生等とし、全国的に HIV/エイズへの取り組みの裾野を広げることを目的とする。

<HIV/エイズ対応の専門性の促進を目指して>

- ・ ケア関連の研修・NGO 指導者研修・通訳研修：各領域について、実践的な取り組みのノウハウや現在の課題に向けての解決について検討を行う。
- ・ 検査・相談研修（基礎編；応用編）：昨年度に引き続き 2 段階の研修として受講生のニーズに沿った形で行う。検査実施の機会が増加するにつれ、その担当者の研修は急務となっている。さまざまな立場で検査対応をする担当者のトレーニングの位置づけで研修を開催を行なう予定である。

1. 5 月 15 日（木）・16 日（金） 検査・相談研修（応用編：経験者向け）

東京開催（45 名）

目的：検査相談に関するテーマについて検討を深める。検査相談における予防的アプローチや、判定保留、陽性告知後の支援のスキルを学ぶ。経験者同士のグループワークに重点を置く。受講生の選抜あり。

対象：すでに検査業務を担当し、財団の検査相談研修（基礎編）、または保健医療科学院の研修を受講した者を優先する。

2. 7 月 30 日（水）・31 日（木） 予防・ケア入門編（エイズ予防～治療・サポートの一連の流れと予防・ケアに関する課題の理解促進を求めて） 東京開催（100 名）

目的：HIV/エイズの基礎知識や現在の重要なトピックスについてその現状と課題を学ぶ。

予防・ケアに関わる際の基本姿勢について学びあう。

予防・ケアの分野に関わる担当者の相互交流も目的とする。

対象：医療保健分野、心理福祉分野、教育分野、NGO 等で、HIV/エイズの予防啓発活動や感染者のケアに関わる予定、または関わり始めた担当者。以前エイズ予防やケアを担当し今回再教育を希望する者。企業、マスコミ、出版、国際協力関係者、学生（大学院生等）の参加も可能。

☆研修翌日より、「エイズ文化フォーラム in 横浜」（8 月 1 日《金》、2 日《土》）が横浜にて開催予定

3. 9 月 16 日（火）・17 日（水） 検査・相談研修（基礎編：初心者向け）

東京開催（60 名）

目的：検査における相談の意義を理解し、通常・即日検査を受検者の視線で捕らえなおし、検査

前後の対応のポイント（判定保留を含め）を学習する。

対象：今後、検査・相談を担当する予定、または担当始めた者。財団の過去の予防ケア入門編地元での基礎的な HIV 研修を受けていることが望ましい。

4. 10月11日(土)・12日(日) 予防・ケア入門編 (エイズ予防～治療・サポートの一連の流れと予防・ケアに関する課題の理解促進を求めて) 福岡での開催予定 (80名)

目的と対象：上記の7月研修と同じ

5. 09年2月26日(木)・27日(金) ケア応用編《カウンセラー・ソーシャルワーカー；看護師・保健師；電話相談》

目的：

＜カウンセラー、ソーシャルワーカー、看護師、保健師 研修＞

病院を含めた地域単位でのケア体制をどのように目指すかが、HIV陽性者ケアにおいて重要になってきており、職種を越えた連携も求められている。事例検討を多職種合同で行いながら、お互いがどのようなことを考えながらケースに望んでいるかについて理解を進める機会を提供する。また、日々変化する医療現場や検査状況について最新の情報を学習する。

＜電話相談研修＞（講義は合同で受講予定）研修二日目は、電話相談担当者のみの研修を行う予定。日々の業務の振り返りを、ロールプレイングなどの実習を含めて行なう。

対象：上記5分野において、HIV臨床の機会を持ち始めた経験者。自分の仕事の課題が見え始めてきた者。職種別のHIVに関する基礎的な研修を各職能団体や地元主催で受けていることが望ましい。

6. 09年3月14日(土)15日(日) 合同研修：通訳研修、NGO指導者研修
大阪での開催予定

＜通訳研修＞

目的：HIVについての最新治療やHIV感染者が活用できる福祉制度、外国籍のHIV感染者の現状と課題の検討を行う。通訳者間の横の繋がりも目指す。

対象：すでに通訳者としてHIV支援に関わっている者。また、通訳研修の枠を広げ、実際にエイズ診療拠点病院で医療通訳として業務を行なう専門家や自治体の国際交流関連機関で地域の外国籍の人々の支援に当たっている通訳者も含む。財団の過去の予防ケア入門編や地元での基礎的なHIV研修を受けていることが望ましい。

＜NGO指導者研修＞

目的：医療・福祉問題の最新知見を知ると同時に、具体的な1)組織運営、2)プログラム開発を学習する。個々のNGOに還元できるための技術を習得することで、NGOのレベルアップを目指す。

対象：HIV/エイズのNGOで支援・普及啓発・予防啓発活動を1年以上経験し、今後2年以上活動を継続できるNGO指導者。財団の過去の予防ケア入門編や地元での基礎的なHIV研修を受けていることが望ましい。